



報道関係者各位

2023年4月24日（月）
NPO 法人日本ブラインドサッカー協会

**体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育。」2022年度(2022年4月～2023年3月)集計
対面体験型・オンライン座学型の合計で全国で14,788人が体験！
～プログラムを開始した2010年から累計約19万人が体験～**

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会（以下、JBFA）は、小・中・高校生を対象とした体験型授業「スポ育」の2022年度（2022年4月～2023年3月）分の集計を終え、昨年4月から今年3月までに、439件、14,788人が参加したことをご報告します。従来より行なっている「対面体験型」に加え、コロナ禍をきっかけに新たに開発した「オンライン座学型」の提供も継続して行い、前年（2021年）比で106件増加しました。

「スポ育」は、パラリンピック競技であるブラインドサッカーの要素を用いた、体験型ダイバーシティ（多様性）教育プログラムです。内容は講演会や通常の体験会とは異なり、1件あたり90分を基本とし、子どもたち全員が視覚に障がいのあるブラインドサッカー選手と触れ合いながら、視覚をアイマスクで閉じた状態でさまざまなワークを行います。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、2020年度に開発した非接触型の「オンライン座学型」は全国どこでも実施可能なため、これまで実施が難しかった地域からのニーズに対応できる利点もあり、今後も継続的に提供する予定です。両プログラムを通じて、引き続き、子どもたちに障がい者への理解促進や、コミュニケーションの重要性、チームワークの大切さ等の学びの場を提供していきます。



2022年度は、「オンライン座学型」の利点を活かし、スポ育初の試みとなる、海外の日本人学校（イギリス・ギルフォード）でのスポ育実施が実現しました。日本国内でも、近年文部科学省が進めるGIGAスクール構想^{※1}によってオンライン授業に対応できる学校も増え、今まで実施エリア外だった地域の子どもたちにもプログラムを提供できるようになっています。さらに、地方での実施も増加しており、対面体験型の対象地域も日本全国へと拡大しました。また、スポ育パートナーである参天製薬株式会社と連携し、全実施数（439件、14,788人）のうち128件（4,029人）は、参天製薬株式会社の社員が、選手やファシリテーターを務め、実施をしました。今後も積極的に、国内外、地域を問わず本プログラムを多くの子ども達に届けて行きたいと考えています。

※1 児童生徒1人1台の学習用端末やクラウド活用を踏まえたネットワーク環境の整備を行い、個別に最適化された教育の実現を目指す政府主導の事業

「おも活」事業との連携

JBFAでは2010年9月から本事業を開始しましたが、2015年秋から、約21万人が取得している民間資格「サービス介助士」を育成・認定している、公益財団法人日本ケアフィット共育機構と事業提携し、「おも活」（おもいやり活動の略）も実施しています。「おも活」とは、学習指導要領にも述べられている、心のバリアフリーに欠かすことのできない、“障害の社会モデル”の考えを学ぶ授業です。身近な生活から社会の困りごとについて考え、「環境が作り出す困りごと」と「相手の立場」、という両面から気づき、考え、行動する好循環を促しています。社会が作り出している障害と、それを解消するためにはどうすればいいのかを、人の多様性を知りながら自ら考え気づく、そしてお手伝いが必要であればお声がけをして、

おもいやりの気持ちを行動に移す。自分たちにもできることがあると知ることで、子どもたちの自主性を促すプログラムで、2022年度はスポ育実施校向けに、11件実施しました。

「スポ育」は、スポ育パートナー企業のサポートにより原則無料で実施しています。2022年度（2022年4月～2023年3月）の「スポ育」活動実績、過去実施件数、体験者数の推移および体験者の声は本文最後に記載しています。

JBFAでは、一人でも多くの子どもたちにスポ育プログラムを提供できるよう、スポ育パートナー企業とともに取り組んでまいります。

●体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育」申込概要

内容：体験型ダイバーシティ教育プログラム（事前学習、体験学習、事後学習）

実施地域：

- ・ 対面体験型
日本国内全て（全国）
- ・ オンライン座学型
海外を含む全地域

対象：小学校4年生～高校3年生までの学校またはスポーツ団体 ※小学3年生は9月から実施可能

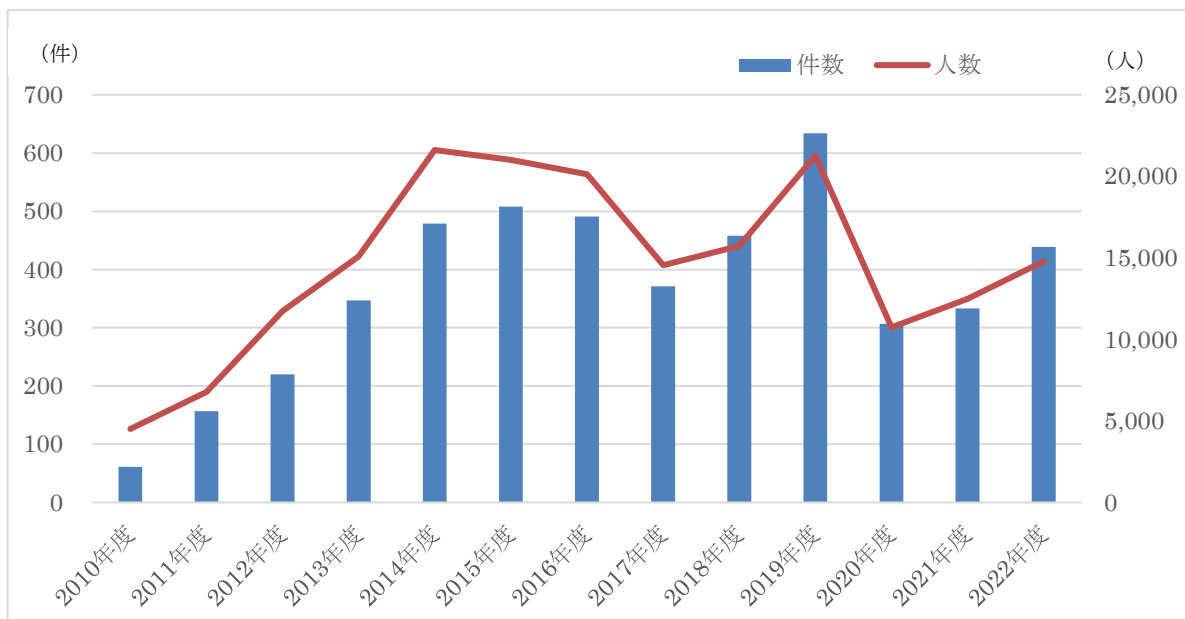
<その他詳細とお申し込み>

- ・ <https://supoiku.b-soccer.jp/>

※6月～8月のお申込み受付は、4月10日（月）より開始しております。

<スポ育実施件数および体験者数の推移>

期間	年度	件数	人数
2010年9月～2011年3月	2010年度	61	4,509
2011年4月～2012年3月	2011年度	157	6,782
2012年4月～2013年3月	2012年度	220	11,754
2013年4月～2014年3月	2013年度	347	15,081
2014年4月～2015年3月	2014年度	479	21,617
2015年4月～2016年3月	2015年度	508	21,008
2016年4月～2017年3月	2016年度	491	20,130
2017年4月～2018年3月	2017年度	371	14,549
2018年4月～2019年3月	2018年度	458	15,736
2019年4月～2020年3月	2019年度	634	21,272
2020年4月～2021年3月	2020年度	307	10,736
2021年4月～2022年3月	2021年度	333	12,488
2022年4月～2023年3月	2022年度	439	14,788
累計		4,805	190,450



2022年度の「スポ育」活動実績

<月別>

年	単位 月	コマ 件数	人 受講人数	
2022年	4月	7	388	
	5月	33	1,008	
	6月	52	1,711	
	7月	40	1,141	
	8月	5	144	
	9月	42	1,567	
	10月	59	1,852	
	11月	70	2,667	
	12月	42	1,434	
	2023年	1月	40	1,259
		2月	37	1,255
		3月	12	362
総計		439	14,788	

<学年別>

学年	単位 受講人数
小学3年	732
小学4年	6,420
小学5年	1,939
小学6年	1,384
中学1年	983
中学2年	2,752
中学3年	304
高校1年	192
高校2年	11
高校3年	54
特別支援学級	17
総計	14,788

<コンテンツ別>

プログラム	単位 件数	人 受講人数
対面体験型	417	13,176
オンライン座学型	22	1,612
総計	439	14,788

<地域別>

都道府県	単位	コマ	人
	市区町村	件数	受講人数
北海道	札幌市	1	85
岩手県	花巻市	2	49
茨城県	守谷市	7	227
栃木県	那須塩原市	8	234
長野県	諏訪郡	1	34
埼玉県	さいたま市	3	93
	羽生市	1	13
	吉川市	3	103
	上尾市	1	36
	新座市	1	40
	川口市	1	17
千葉県	印西市	6	186
	市川市	4	122
	成田市	5	125
	千葉市	1	30
	船橋市	2	45
	木更津市	3	102
東京都	羽村市	1	24
	葛飾区	9	244
	江戸川区	6	219
	港区	22	755
	小平市	9	285
	昭島市	4	122
	新宿区	37	1,101
	新島村	1	15
	杉並区	4	119
	世田谷区	4	136
	西東京市	6	191
	青梅市	2	53
	足立区	2	65
	台東区	9	287
	中央区	1	141
	町田市	11	438
	調布市	20	680
	八王子市	7	227
	板橋区	3	116
	品川区	57	1,955
	府中市	11	394
	文京区	48	1,542
	豊島区	3	73
	墨田区	2	50
	立川市	3	99
	練馬区	6	179

都道府県	単位	コマ	人
都道府県	市区町村	件数	受講人数
神奈川県	伊勢原市	3	96
	横須賀市	1	17
	横浜市	27	882
	三浦市	3	109
	川崎市	13	456
	平塚市	4	142
静岡県	三島市	11	307
	磐田市	2	62
石川県	金沢市	13	437
滋賀県	守山市	1	22
大阪府	茨木市	1	150
	大阪市	13	538
	富田林市	3	184
兵庫県	西宮市	4	136
	淡路市	1	11
イギリス	ギルフォード	1	188
総計		439	14,788

実施先からの感想

私は目が見えていなくても、走ったりふつうに生活できることを知ることができてよかったです。体験をしてる時、私はとっても楽しかったです。またブラインドサッカーやりたいです。

<大阪市 小5>

ボールを目かしくせずそのままけっても真っすぐとばないのに大丈夫かなと不安だった。実際にブラインドサッカーを体験して、一回もコーンにあたらず、選手はすごいなと思った。でも不思議と楽しくて、ずっと笑っていました。とても楽しかったです。

<東京都 中2>

体験前はこわかったけど、だんだんやるうちに、みんなが声掛けをしてくれるので楽しくできました。アイマスクをしていると、目が見えないから音に集中してやるので、ブラサカの選手は耳がいいのかなと思いました。

<東京都 小4>

ブラインドサッカー体験の前は、視覚障がい者はかわいそうや、出来ないことがたくさんあると思っていました。でも体験を通して、視覚障がいには目が見える人には上手くできないことができることがわかりました。ブラインドサッカーがすごくかっこいいことを家族にも伝えたいと思います。また選手とガイドが協力してやっていることに感動しました。

<静岡県 小5>

話し方、ゲームの難易度、視力を閉ざすことへの慣れなど、スモールステップで授業を進めてくださり、とても学習になりました。また、障がいを持つ、持たないに関わらず困っている人を助けられるようになるというお話は、子どもの心に響いたかと思います。ありがとうございました。

<神奈川県 小学校教諭>

初めは、声掛けも弱々しく、遠慮がちだった児童たちも、時間と共にどんどん積極的になりました。まず、選手のデモンストレーションで、子ども達は驚き、目を輝かせていました。実際に目かくしをして体を動かし始めると、むずかしさを感じつつも、とても楽しそうでした。教室に帰ってからも「楽しかった〜！」と満足していたようです。最後には、優しい言葉がけや、その工夫の大切さを口にしてている子もいました。

<東京都 小学校教諭>

最初は怖がっていたり恥ずかしがったりしていた子どもたちが自然に声を掛け合って一つの目標に向かってチャレンジしている姿が見られました。

短時間で心も体もあったかくなって見ている私も驚きの変化でした。子ども達への声掛け、日常生活との結びつきのある話、どれも子どもたちの心に響くものでした。

<静岡県 小学校教諭>

本件に関するお問い合わせ

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会 広報室

E-mail: media@b-soccer.jp

協会ウェブサイト: <https://www.b-soccer.jp>

住所: 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 ペアーズビル3階